

【キトラ古墳壁画陶板模型】

今年のキトラ古墳壁画展の展示物の目玉の一つに、「キトラ古墳陶板模型」があります。これはキトラ古墳石室内部の複製品ですが、これまでのものと大きく異なる点があります。それは、2004年に石室内部で撮影されたフォトマップデータを元にした写真を陶板に焼成し、何度も色味や質感の調整をおこない、

さらに、2万枚を超える写真を検討しながら、細かな凹凸を施したという点です。

模型は、様々な展示方法にも対応できるように作成しており、例えば各壁は個別に取り外して展示することもできます。また、石室の床面は実物と異なり平滑に仕上げていますが、これは南壁と北壁を取り外し、中を歩いていただけるような展示方法も視

写真上：凹凸の検討中

写真中：陶板模型の組立作業

写真下：展示風景



野にいれてのことです。

そして、この陶板模型の大きな強みは、焼物であることから強度も十分で、変色や劣化の心配が無いことです。このキトラ古墳壁画陶板模型は色褪せることなく、2004年のキトラ古墳の姿を後世に長く伝える貴重なレプリカとなることでしょう。

(飛鳥資料館 成田 聖)

キトラ古墳壁画陶板模型

